屋外消火栓消火設備　④

試験項目						種別・容量等の内容	結果
機能試験	加圧送水装置試験	ポンプを用いるもの	ポンプ試験	※定格負荷運転時の状況	定格揚程	m	
					電圧	V	
					電流	A	
			※水温上昇防止装置試験			逃し水量　ℓ/min	
			※ポンプ性能試験装置試験			表示値の差　ℓ	
			高架水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	―――	
				静水圧測定		最下位　MPa　最上位　MPa	
			圧力水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	―――	
					自動加圧装置作動状況	―――	
				静水圧測定		最下位　MPa　最上位　MPa	
		配管耐圧試験				試験圧力　MPa	
総合試験	放水試験	―――		消火栓番号	放水圧力	放水量	—
		同時放水試験			MPa	ℓ/min	
					MPa	ℓ/min	
		個別			MPa	ℓ/min	
	非常電源切替装置				自家発電設備	―――	
					蓄電池設備	―――	
					燃料電池設備	―――	
備考							

備考1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
3　Ａは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Ｂは主要構造部を耐火構造としたもの又は簡易耐火建築物で内装制限したもの及びＣはＡ及びＢ以外のものをいう。
4　※印の試験は、「加圧送水装置の基準」（平成９年消防庁告示第８号）に適合している旨の表示が付されているものにあっては、省略することができる。
5　結果の欄には、良否を記入すること。
6　非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
7　総合操作盤が設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第十三を次のように改める。

別記様式第13　①

漏電火災警報器試験結果報告書

試験実施日　　年　　月　　日

試験実施者

住　所

氏　名　　印

用途	（　）項　・			
延べ面積	m²	階数	地上　　階　地階　　階	
契約電流容量（最大）	A			
変流器	型式	屋内型・屋外型	構造	分割型・貫通型
	定格電流	A	定格電圧	V
	製造者名			
受信機	種別	屋内型・屋外型・集合型	定格電圧	V
	公称作動電流値	mA	製造者名	
音響装置	種別	ベル・ブザー	関連装置	
	電圧	AC・DC　V		
漏電火災警報器の作動と連動して電流の遮断を行う装置		有・無		

試験項目				種別・容量等の内容	結果
外観試験	変流器	設置場所等		屋外の引込線・Ｂ種接地線・屋内の電路	
		設置状況		―――	
		構造・性能		―――	
	受信機	設置場所等			
		設置状況		―――	
		機器	構造・性能	―――	
			検出漏洩電流設定値	mA	
		予備品等		―――	
	音響装置	設置場所			
		構造		―――	